

科目名 (Eng)	セミナー (Seminar)								
担当教員	コミュニケーション情報学科全教員								
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報 学科	4	通年	必修	2	(60)	専門	C	
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-4). (D-3). (D-4). (D-5). (E-4). (F-1). (F-2). (F-3). (F-5).								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3). 4). 5). 6).								
	JABEE基準1(1)との対応：(d)-(1). (d)-(3). (d)-(4). (e). (f).								
授業の概要と方針	卒業研究の発表をへ継続できるように、卒業研究の予備演習として各教員の研究室に配属する。								
到達目標	指導教員の研究領域を理解し、卒業研究の方向性を決める。								
授業計画									
<p>森川治 経済数学・ゲーム理論入門 ゼミと演習、課題とレポートで評価する</p> <p>脇田淳一 統計的品質管理入門 レポートおよび試験で評価する</p> <p>芥川一則 都市・地域経済学 定期試験70%、発表内容30%で評価する</p> <p>坪井晋也 経営入門 課題と発表で評価する</p> <p>島村浩 ソフトウェア全般に関する基礎知識の習得 レポート50%、システム完成度50%により評価する</p> <p>渡部美紀子 会計学入門 発表の内容、レポートで評価する</p> <p>松本行真 マーケティング・その周辺領域 レポートおよび発表で評価する</p> <p>松江俊一 言語文化社会論 レポート・レジュメ70%、発表30%で評価する</p> <p>米本清 企業と消費者の立地・意思決定論 レポート内容70%、発表30%で評価する</p>									
試験について	指導教員の評価基準により判定する（授業計画の欄参照）。								
評価方法	指導教員の評価基準により判定する（授業計画の欄参照）。								
教科書	指導教員の指示による。								
参考書									
関連科目	卒業研究								
履修上の注意	主体的に問題を発見し、その解決方法を探る。自主性、独創性、創造性を培うこと。なお、配属先の決定は選抜によるが、各研究質の定員は概ね5名程度である。								

